

事業名	教育広報費			調書番号	98
細事業名	児童生徒と語る「一日教育委員会」開催費	財務コード	152503		
担当部課室	教育委員会	総務課	総務企画	担当 (内線)	8061

事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 小中学校児童生徒・教職員 教育委員	その対象をどのような状態にして 自らの意見や要望等を教育委員に直接伝える機会が提供できている 児童生徒の様子や学校現場の実情を把握する機会が提供されている	結果、何に結びつけるのか 今後の教育施策への反映
	事業概要 教育委員が教育現場における実践状況の視察や児童生徒及び教職員と直接語り合う機会を設け、意見や現状を把握する。 ・教育事務所の管轄区域を単位とし、年2回(小学校1校、中学校1校)実施。 実績 10月7日「都留市立谷村第一小学校」、10月28日「南部町立南部中学校」 教育委員が教壇に立ち、1クラス全体の児童生徒と意見交換を行う。 授業視察や市町村教育委員会、学校職員との意見交換		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	開催回数	目標	2	2	2	2	2	2
		実績(見込)	2	2	2	2	2	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		5	6	6	6	6	145	145

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	
成果指標		評価	教育委員が、児童生徒の学校での様子や学校現場の実態を把握できる貴重な機会となっている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり) )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	児童生徒の様子や学校現場の実情を把握する機会の提供であり、随時見直しを行うことで成果向上が見込める。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(教育委員に現場の実情等をより効果的に把握できるよう、実施内容等については、適宜見直しを行っている。)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	教育委員が現場の実情等をより効果的に把握できるよう、実施内容等の改善を図っていく。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	より教育現場の実情が把握できるよう、学校職員との意見交換の充実や市町村教育委員との意見交換の実施など、実施内容の改善を行った。
------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。